

## 平成28年度岡崎市観光基本計画推進委員会 第5回議事録

日時： 平成29年2月21日(火) 14時30分～16時00分

場所： 岡崎市役所分館2階202号室

出席委員： 9名

高橋一夫(委員長)、A 佐野幸弘、B 河原一夫、C 西尾孝志、  
D 野村顕弘、E 天野裕、F 嶋村光世、G 神谷知秀、H 五反田智美

欠席委員：山中賢一、竹内博剛、堀田大祐、長尾晴香

オブザーバー：河村保(愛知県観光協会専務理事)、志賀爲宏(岡崎市観光協会会長)  
石原嘉明(岡崎活性化本部観光推進プロデューサー)

事務局：7名(神尾経済振興部長、杉浦観光課長、観光課職員3名、株式会社JTB総合研究所2名)

傍聴者：0名

### 1 開会

### 2 事務局・委員長挨拶、資料確認

### 3 議題

(1) 岡崎市観光基本計画アクションプラン(案)パブリックコメントの結果について  
(事務局)

【資料概要説明】

(委員長)

- ・市民の皆様細かいところまで見ていただいていることがよく分かったところで、委員の皆様からご意見を頂戴したい。

(B委員)

- ・7人ということだが、時期が集中し一部の人に限定されているが、もう少しこの活動を理解してもらい、意見をいただく機会はないのか。

(E委員)

- ・7人という少なさはパブリックコメントという方法の限界を表わしている。今後どれだけ市民に届くのかという危惧がある。公民連携で民間に期待する部分が大きいが、どのように民間に発信するのかという点が重要だ。何事につけても検討するという返答が多いが、施策が実現した際に、どのように民間の協力をもらうのかが見えない。

(委員長)

- ・ 実施の段階ではその場その場で議論することがあるため、それをこの場で細かく記載することはできないが、今後に活かしていただきたい。

(H 委員)

- ・ 犬山市では各所にアンケートに答えることのできる場所があり、岡崎市でもそのような場所が多いと市民の声も拾えるのではないかと。今回のパブリックコメントも“ 市政だより ”に小さく載っていただけであったため、目につきやすい場所にコメントを書いてもらう場所を作ってはどうか。

(委員長)

- ・ このパブリックコメントでご意見については、アクションプランの完全版と併せて公表していくこととするが、いかがか。

(一同)

- ・ 異存なし。

## ( 2 ) 岡崎市観光基本計画アクションプランの策定について

(事務局)

### 【資料概要説明】

(委員長)

- ・ アクションプランに意見を反映する最後の機会となるが、ご意見を頂戴したい。

(C 委員)

- ・ 様々な方に岡崎市の観光について考えていただいている。今後はまず中心地から始めていき、結果として岡崎市全体が振興していく。今回の議論を元にどう地域と繋がっていくかを真剣に考えていきたい。間もなくフードコートオープンさせるが、企業としてもそうした取組みを発信していきたいし、皆様からもご意見を伺いたいと考えている。

(委員長)

- ・ 優先順位を付けるということ言えば、アクションプランの先を見抜く力が重要となる。前の観光振興計画アクションプランにおいて、観光情報サイトの構築に 10 年かかったということは、当時それほど重要視されていなかったということではないか。そうしたことから、民間も含めた目利きの必要性を感じる。

(D 委員)

- ・ 概要版のイラストについてだが、わかりやすく非常に良い。岡崎市の中心部においては二七市の活気がなくなってきており、市民会館の駐車場を開放すれば地方の人も来やすくなる。大樹寺でも観光売店を誘致できれば盛り上げていける。また、朱印帳のブームに引っ掛けてウォーキングのガイドブックを作成してはどうかとも考えている。

(F 委員)

- ・ アクションプランの 111 ページでおもてなしの問題点を見ようとすると、某グラフの凸凹が見にくいので、多い順から並べてもよいだろう。

(A 委員)

- ・ 額田町は合併してその名が無くなったが、「額田」という言葉を使って良いのか。

(事務局)

- ・ 旧名表記はアイデンティティに関わることもあり、この委員会だけでは決められない。ただそのような意見があったことは把握し、記録にも留めておく。

(G 委員)

- ・ 我々のように飲食関係者は、語弊があるかもしれないがその時々で動いており、活字を読むことが苦手だ。飲食に関わる部分だけでも簡易化したものがあれば皆様に見ていただく機会を増やせるのではないかと。また飲食関係の組合はあるが実際には決まった活動しかしていない。
- ・ その一方で、飲食関係者は機動力があり、非公式の場ではざっくばらんな意見が出ている。個人としては書面で送るよりも、数百人規模の交流会のような場で意見を交換する方が良いと考えている。皆様と生活リズムが違い、(日中の)通常の間帯には集まりづらいため、飲食店に合わせた動きも必要になってくるのではないかと。

(委員長)

- ・ ぜひ積極的に委員側からも声がけをしていただけると、行政とも上手く連携していけるのではないかと。

(B 委員)

- ・ アクションプラン概要版はどのような場所に配布するのか。

(事務局)

- ・ 主に市政情報コーナーに配布し、HP で公開もする予定だ。新年度には増刷も予定している。

(E 委員)

- ・ 改めて拝見し、観光産業都市の創造が基本的な考え方として掲げられているが、観光産業都市のイメージがわきにくいのではないかと。公民一丸となってというキーワードが出ているが、その噛み砕きがないと、市民に届かないのではないかと。

(委員長)

- ・ それについては今まで一定程度議論してきたと理解をしているので、それを踏まえた上でご意見をいただきたい。

(E 委員)

- ・ 全く議論していないというわけではないが、この記述だけでは足りないのではないかと。例えばこの事業が進むに従って、公民連携のモデルプロジェクトを発信してはどうか。カクキューがフードコートを作ったということや、大樹寺の観光土産店の誘致、二七市の駐車場の開放といった取組が、民間に対するメッセージになっていくのではないかと。

- ・ 岡崎市では観光総合サイトが立ち上がり、シティプロモーションのページがリニューアルされるということだが、シティプロモーションと観光との連携が希薄だと感じる。定住人口を増やすことが掲げられているが、移住も観光に繋がるため、相互に連携していくことが必要だ。観光産業都市に発展していくためには、外から人を呼ぶだけでなく、市民自らが観光資源を楽しみ市民が発信してくことも必要だ。

#### (委員長)

- ・ 2017 年の通常国会に観光関係の新たな法律施行や改正が相次ぐ予定だ。例えば通訳案内士法が改正される。現在の試験は非常に合格率が低く、トップガイドの領域拡大を目指し、80 時間の研修と実務試験でトップガイドになれるようになる。これに伴い生活体験に結びついたガイドができるようになる。そこで、定住と交流の一つのきっかけとなり、それが産業化し有償でガイドができるようになるかもしれない。
- ・ また、旅館業法の改正により細かな規定を大幅に緩和することになり、誰でも簡易宿泊施設の申請ができるようになる。このような規制緩和も観光産業化に繋がるのではないか。岡崎市としてはこれらの情報を正しく市民に伝え、それを後押しする制度を作るという対応もできる。こうした規制緩和の動きに積極的に関与していくことが重要だ。
- ・ 公民連携の考え方では、民間からの要望で動いていく当たり前の姿が実現できることで進んでいくのではないか。アメリカのメリーランド州では唯一行政の中に DMO がある。3 年で移動する職員が 3 分の 1 しかない一方で、10 年から 20 年在席している職員が 3 分の 1 おり専門職化しているが、観光事業者からの声がないために、組織を行政の外に出していないということだ。彼らは自分たちの考えを直接行政に伝えることで官民連携を実現させている。市民が中心の社会とは自ら意思表示をし、自らの責任や権限を明らかにすることだ。

#### (H 委員)

- ・ 基本戦略の 5 つ目の岡崎市に招くという点が弱いと感じた。観光総合案内窓口は東岡崎駅にしかないが他にもあるのか。公園の土産店の間にも案内所があるが、冬期間は閉鎖されている。また、イラストでは大樹寺から北が触れられておらず、ぜひ付け足していただきたい。

#### (事務局)

- ・ イラストはほぼ完成しているため、大幅な修正は難しいが、検討させていただく。しかし、難しいということをご理解願いたい。
- ・ 岡崎公園は都市公園で法律に縛られ積極的に施設を作ることが難しいという現状がある。
- ・ 案内所は JR 岡崎駅にもあり、藤川宿にも観光コーナーがある。公園の案内所はボランティアガイドの詰め所で、最近は歴史語り人という有料の案内も養成しており、そちらは通年でサービスを提供している。
- ・ 今後、岡崎公園は観光客に対するおもてなしを重視した公園に変えていきたいと考えている。

(E 委員)

- ・ イラストの JR の線路 ( の位置関係 ) がおかしいのではないか。

(事務局)

- ・ 変更可能か相談したい。

(委員長)

- ・ 本日いただいた意見は可能な範囲で取り入れつつ、見やすさなども踏まえた修正については私にご一任いただきたい。

(一同)

- ・ 異存なし。

#### 4 その他

(1) 今後のスケジュールの確認について

【事務局説明】

#### 5 閉会

以上